

「大学、短期大学、高等専門学校における学生支援の取組状況に関する調査について」 調査報告

2009（平成 21）年 6 月 独立行政法人 日本学生支援機構

この度、大学、短期大学、高等専門学校における学生支援の取組状況について調査を行い、その結果を取りまとめました。調査結果は次のとおりです。

1. 調査の概要

1-1. 目的

大学、短期大学、高等専門学校における学生支援の取組状況について調査し、学生支援に関するニーズを把握する。

1-2. 調査対象校

日本全国の国公立大学・短期大学（部）・高等専門学校 1,217 校

1-3. 調査方法

当機構ホームページ上より回答用 Excel ファイルをダウンロードのうえ、電子メールで回収した。

1-4. 調査時期

2008（平成 20）年 10 月 1 日現在

1-5. 回答校数

1,105 校（回収率 90.8% 詳細は下記参照）

	対象校数	回答校数	回収率
大学	759	696	91.7%
国立	86	82	95.3%
公立	81	70	86.4%
私立	592	544	91.9%
短期大学	394	348	88.3%
高等専門学校	64	61	95.3%
計	1217	1105	90.8%

※「大学」には大学院大学、「短期大学」には短期大学部を含む。

2. 用語について

オフィスアワー

教員が研究室等において、学生の授業内容等に関する質問・相談に応じるための時間として、あらかじめ示す特定の時間帯を指す。

ピア・サポート

学生生活上で支援（援助）を必要としている学生に対し、仲間である学生同士で気軽に相談に応じ、手助けを行う制度。

スチューデント・アシスタント（SA）

学内における呼称に関わらず、学士課程の学生を教育の補助業務や学生支援に携わらせるものを想定。